



TRAVEL SCOPE™ 80

取扱説明書

日本語 v1

CE-ASTS-22030



目次

セット内容	P3
付属品一覧	P3
パーツ名	P3
組み立て	P3
三脚の設置	P3
鏡筒と三脚の取り付け	P4
望遠鏡を動かす	P4
接眼レンズと 45°正立プリズムの取り付け	P4
ファインダーの取り付け	P4
ファインダーの調節	P5
ピントの調整	P5
観察について	P5
警告・注意事項	P6
保証	P6

**警告：太陽について**

- ・望遠鏡で太陽の観察は絶対にしないでください。失明の危険があります。
- ・肉眼または望遠鏡で太陽を直接見ないでください。望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどで太陽を絶対にのぞいてはいけません。
- ・望遠鏡を使用して太陽の像を投影しないでください。内部の熱の蓄積により、望遠鏡および付属アクセサリーが損傷する可能性があります。
- ・接眼レンズの太陽フィルターは使用しないでください。望遠鏡内部の熱の蓄積により、割れたり壊れたりし、太陽光が目に入り失明の危険があります。
- ・子供がいる場合や、望遠鏡の操作方法がわからない大人がいる場合は、望遠鏡から目を離さないでください。

セット内容

望遠鏡を使わない時の保管用として、箱は大切に取っておいてください。小さな部品がありますので、慎重に開梱してください。以下の部品リストを参照し、すべての部品と付属品が揃っていることをご確認ください。

付属品一覧

- ・望遠鏡鏡筒
- ・20mm接眼レンズ
- ・5×24ファインダー
- ・三脚(雲台付)
- ・10mm接眼レンズ
- ・バックパック
- ・スマートフォンアダプター
- ・45°正立プリズム
- ・取扱説明書



パーツ名



組み立て

初めてトラベルスコープを組み立てる際は、屋外で組み立てる前に、一度屋内で組み立てて正しい手順を確認してください。

三脚の設置

1. 三脚を垂直に立て、脚を外側に開きます。(図1)
2. 三脚の高さを上げるには、それぞれの脚の下部にある脚ロックを解除します。
脚ロックを解除したら、脚をすべて引き出し、脚ロックを閉めて固定します。(図2)
すべての脚で操作を繰り返して、高さを調整します。(図3)
3. 三脚の高さをさらに上げたい場合は、クランクハンドルを使用してください。
エレベーターロックを回して緩め、クランクハンドルを回して雲台を引き上げます。(図4)
引き上げたらエレベーターロックを締めます。
鏡筒の安定性を確保するため、エレベーターロックがしっかりと締められていることを確認してください。



(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

鏡筒と三脚の取り付け

鏡筒は、鏡筒底部のアリガタレールと三脚のクイックシューを使用して三脚に取り付けます。作業を始める前に、三脚のすべての脚ロックが固定されていることを確認してください。

1. 三脚雲台の側面にあるクイックシュー固定レバーを開いてクイックシューを取り外します。(図1)
2. クイックシューのネジを鏡筒のアリガタレール底部のネジ穴にねじ込みます。(図2)
3. クイックシューが付いた鏡筒を雲台に戻し(図3)、クイックシュー固定レバーを押してしっかりと固定します。(図4)



(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

望遠鏡を動かす

Travel Scope は、見たい対象に簡単に向けられます。上下方向の動き(高度調整)は、パンハンドルで操作します。上下の動きのロックを解除するには、パンハンドルを反時計回りに回してください。望遠鏡を上下に動かし、位置が決まったら、パンハンドルを時計回りに回して固定します。望遠鏡を左右に動かすには、水平クランプを緩めて動かしてください。

接眼レンズと45°正立プリズムの取り付け

Travel Scope に付属の 45°正立プリズムは、像を上下・左右とも正しい向きに補正します。特に地上景色の観察において、非常に扱いやすくなっています。このプリズムは、観察しやすいように任意の位置に回転させることが可能です。

1. 鏡筒接眼部の2つの固定ネジを緩め、接眼部のキャップを取り外します。
2. 45°正立プリズムのキャップを外し、45°正立プリズムのスリーブを接眼部に挿入します。2本の固定ネジを締めて固定します。
3. 45°正立プリズム側面の固定ネジを緩め、接眼レンズのスリーブを挿入します。固定ネジを締めて接眼レンズを固定します。



ファインダーの取り付け

Travel Scope は、メイン鏡筒を遠くのターゲットの方向に向けるのに役立つ小型の光学ファインダーが付属しています。

1. 鏡筒の左側にある2つの銀色の固定ナットを取り外します。
2. 固定ナットを取り外した2つのネジ軸の上にファインダーブラケットを設置します。
3. 固定ナットを締めて、ファインダーを所定の位置に固定します。



ファインダーの調整

ファインダーを使用するには、鏡筒とファインダーが同じ方向を向くように調整する必要があります。これは日中におこなうことをお勧めします。

1. 望遠鏡を外に持ち出し、対物レンズキャップを外して、ビルの避雷針、電柱、街灯、大きな木のとっぺんなど、遠くにある対象物を探します。少なくとも500m離れた対象物がオススメです。それが難しい場合は、できるだけ遠くにある物体を探してください。
2. 20 mm接眼レンズを取り付け、対象物を望遠鏡の視野の中心に導入します。
3. ファインダーの接眼レンズから同じ対象物の位置を確認します。
4. 鏡筒を動かさずに、ファインダーブラケットの周囲にあるファインダー調整ネジを回して、ファインダーの十字線を望遠鏡の視野に導入した対象物の中央に合わせます。

望遠鏡とファインダーの調整が完了しました。望遠鏡を動かすには、雲台のパンハンドルで、上下（高度）ロックを緩めます。ファインダーを覗き、十字線で目標を捉えたら、ロックを締めて固定します。次に、20mm接眼レンズを覗くと対象物が見えます。さらに拡大したい場合は、より高倍率の接眼レンズに交換し、ピント調整ノブを使って望遠鏡のピントを合わせます。

注意: ファインダーを通して見る対象物は上下逆さまに見えますが、これは正常です。

ピントの調整

Travel Scope のピントを合わせるには、接眼レンズを覗きながら、接眼部にあるピント調整ノブを回してください。

メガネをかけている場合は、接眼レンズでの観察時にメガネを外すこともできます。ただし、乱視がある場合は、メガネを付けたままお使いください。また、接眼レンズの交換や、異なる距離の対象を観察する際は、その都度ピントを合わせ直す必要があります。

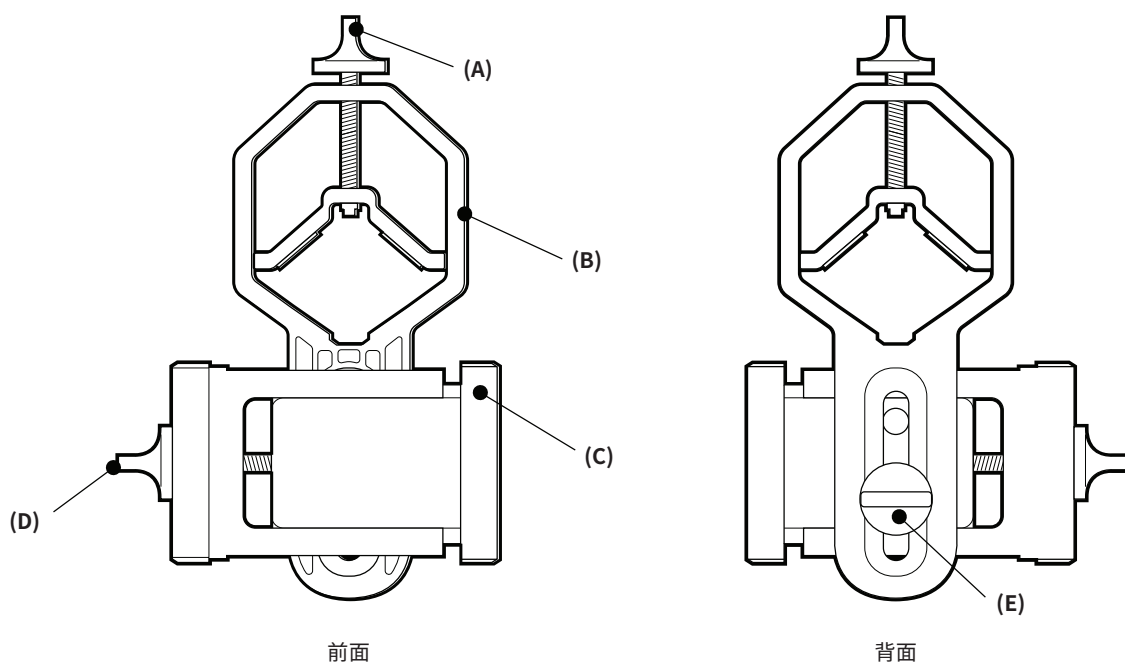
観測について

光学機器を使用する際は、下記の点にご注意ください。

- ・窓ガラス越しには絶対に見ないでください。家庭用の窓ガラスを通して見ると望遠鏡のピント合わせに影響を及ぼします。鮮明な画像を得ることはできず、場合によっては二重像が見えることもあります。
- ・熱を発生している物を通して絶対に見ないでください。暑い夏の日のアスファルトの駐車場や建物の屋上、エアコンの室外機などが含まれます。
- ・かすんだ空、霧、もやなども、地上観察をする際にピントを合わせるのを難しくする要因となります。この状況では、細部が見えにくいことがあります。

注意: この望遠鏡は地上観測用に設計されていますが、手軽な天体観察にも使用できます。

スマートフォンアダプタの使い方



1. アダプターを取り付ける前に、光学機器（望遠鏡、スポッティングスコープ、双眼鏡など）を覗き、視界が鮮明にピントが合っていることを確認します。
2. 接眼レンズクランプ(B)を開きます。接眼レンズクランプ上部の接眼レンズクランプノブ(A)を緩めてください。
3. 接眼レンズクランプを光学機器の接眼レンズに取り付けます。接眼レンズクランプノブを締めて、接眼レンズクランプを接眼レンズにしっかりと固定します。
注意：アイレリーフアジャスターなど、接眼レンズ筒の自由に回転しない部分にクランプを取り付けてください。
4. ホルダークランプ(C)にスマートフォンを固定します。ホルダークランプノブ(D)を緩めて、が携帯電話の幅に合うようにホルダークランプを開いてください。スマートフォンを置いたら、ホルダークランプノブを締めてスマートフォンを固定します。
注意：このアダプターはほとんどのスマートフォンケースに使用できますが、ホルダーに正しく収まるように、ケースの表面は平らである必要があります。ケースにグリップ、スタンド、リング、または突起物が付いていると、取り付けが妨げられます。手帳型のスマートフォンケースは取り外す必要があります。
5. スマートフォンのカメラアプリを起動します。ホルダー調整ノブ(E)を緩め、スマートフォンのカメラの位置を光学機器の接眼レンズと一直線になるように調整します。
6. カメラが接眼レンズの上にあり、カメラで接眼レンズを通して撮影できたら、ホルダー調整ノブをしっかり締めてスマートフォンの位置に固定します。
7. 必要に応じて、最も鮮明な画像が得られるように光学機器のピントを再度調整します。
8. これで、スマートフォンのカメラを使用して写真やビデオを撮影する準備が整いました。



⚠ 警告 太陽をのぞいてはいけません。失明の危険があります。

天体望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどで太陽を絶対にのぞいてはいけません。失明の危険があります。

⚠ 注意

- Travel Scopeを使用中は、操作する部分を除き三脚などに触れないようにしてください。
手をはさむなどケガの原因になる場合があります。
- レンズのキャップを外したままで、直射日光の下に製品を放置しないでください。
望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。
- 移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。
- キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲み込むことのないようにしてください。

お手入れ・保管について

- 炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
- 本体を清掃する際に、シンナーなど強い有機溶剤を使用しないでください。
- 製品に、雨、水滴、泥、砂などがつかないようにしてください。
- レンズにほこりやゴミがついた場合は、市販のブロアーなどで吹き飛ばしてください。
- レンズ表面は手で直接触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合はブロアーでほこりやゴミを吹き飛ばしてから、市販のカメラ用レンズクリーナーとレンズクリーニングペーパーを使い、軽く拭きとってください。レンズ表面は大変デリケートですので、清掃の際はキズをつけないよう十分ご注意ください。
- 保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

保証内容について

このたびはCelestron製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の保証内容について、下記の通りご案内いたします。
ご使用前に必ずお読みいただき、大切に保管してください。

■ 初期不良について

ご購入日より3ヶ月以内に発生した不具合で、弊社にて初期不良と認められた場合は、無償で商品を交換いたします。
※ 保証対応には、ご購入時のレシートや納品書などの購入証明書が必要です。
保証書の代わりとなりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

■ 保証期間

メーカーの定める操作マニュアルに従い、通常環境下で使用されている製品に発生した不具合については
ご購入日より2年間、無償で修理対応いたします。(電子部品に関しては1年間)

■ 無償保証の適用外となるケース

以下のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、有償での修理対応となります。

- A) 通常の使用方法以外での操作や取り扱いによる故障や損傷
- B) お客様による改造、または不適切な修理に起因する故障
- C) 地震・火災・水害などの天災や不可抗力による損傷
- D) 購入証明書(レシートや納品書等)が提示できない場合

■ 修理について

修理のご依頼は、購入証明書(レシート・納品書等)を添えて、ご購入店舗または弊社サポート窓口までご連絡ください。
修理品の送料はお客様のご負担となります。輸送中の破損・紛失について、弊社は一切の責任を負いかねます。
修理に必要な部品について、製品の販売終了後から5年間を目安に保管いたします。ただしメーカーの部品供給状況により前後する
場合がございますので、あらかじめご了承ください。
修理により交換された部品や旧製品は、有償・無償を問わずご返却いたしません。

■ 免責事項

本製品の故障、またはその使用により発生したお客様の損害(営業損失・データ損失等)については、
直接的・間接的を問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。
弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品の故障に関する損害賠償責任は、ご購入金額を上限といたします。
内容は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ窓口

株式会社アーキサイト サポートセンター
弊社ホームページのお問い合わせフォームにて
受け付けております。
<https://archisite.co.jp/contacts/celestron/>



日本正規販売代理店

株式会社 **アーキサイト**

〒110-0006
東京都台東区秋葉原5-9 明治安田生命秋葉原ビル
<https://archisite.co.jp/>